中部

◇名古屋支局◇
名古屋市中村区
那古屋１-38-１
星光桜通ビル５階
☎052(566)2290
FAX052(566)2291

Ｓｉコンロ 25％普及へ

直売5万件へ再挑戦

新日本ガス 23年度総決起大会

新日本ガス（本社・岐阜市、高井宏康社長）は3月12日、岐阜市の本社会議室で平成23年度総決起大会を開いた。今年のテーマは「ガス事業を軸足において」。ガス事業を中核に、機器販売や保安など各種事業に取り組む。

高井社長は「国内の沈静ムード打破へ、家族、地域が相互扶助の精神で信頼関係を構築していくことが求められる。地域の発展なくして、LPガス事業はない。家庭の豊かさ、地域・街興しへの貢献、活力ある地域の支えになるよう取り組みたい」と述べ、顧客との絆を深めるよう訴えた。

この方針の下、新年度は非営利事業のキャンペーンを開始する。11事業所が個性ある活動を展開する。例えば、三河支店は営業・販売提案を除いた訪問活動「ありがとうキャンペーン」を実施する。他の支店も、こんろ・レンジフードの清掃キャンペーン、訪問によるお年寄への声かけなど、非販売活動に取り組む。

総決起大会では、事業部別に方針と目標を発表、支店・営業所別に目標必達へ決意表明した。

全社では太陽光発電とエネファームの販売を強化する。太陽光は昨年度61台を成約、今年度は63台が目標。エネファームは昨年度実績の5台以上を狙う。Siセンサーコンロは昨年度約4千台販売したが、今年度は3300台を販売し全顧客の約25%に普及させる。

直売件数は、昨年度に掲げた5万件へ再チャレンジする。保安高度化に向け各社員が能力・技術力アップを図るため、コンテストや研修に例年以上に力を入れる。

各事業所が目標必達誓う

高井宏康社長

中国

◇ 広島支局 ◇
広島市中区八丁堀１-23
ヴェル八丁堀704号
☎082(227)4501
FAX082(228)2373

パロマ

"業界標準"に磨き

東海支店が方針説明会

パロマ東海支店（橋正幸支店長）は3月8日、名古屋市のレセプションハウス名古屋通信会館で2011年販売方針説明会名古屋会場を開いた。約90人を集めた。

小林弘明社長

小林弘明社長は「当社は今年、創業100周年を迎え、製販一体で改めてスタートした。ガス業界でここまで来られたことを感謝申し上げる。平和の象徴『はと』を意味するスペイン語を社名に採用したように、平和の一翼を担ってきた。業界に支えられ、落ち込んだ業績も回復した。今後は本業重視で、業界に寄与するためシンプルで分かりやすいメーカーを目指す。『スタンダード』のさらなる向上へ、ものづくりを基本に据える」と抱負を述べた。

米澤英一常務は、業績について「昨年度は国内のガス機器需要が約2%増えたが、当社は売上高約400億円で前年比約3%アップした。ビルトインこんろは順調、エコジョーズは92%増と倍近く出荷した。海外を含む売上高は約2500億円となり、ドルベースでリーマン危機前の水準まで回復した」と語った。販売方針を説明した宇都宮浩販売部長は▽リプレース需要の着実な取り込み▽電化対策と燃転の推進▽販売促進支援――の3本柱を提示。橋支店長は、経年劣化取り替え促進、新生活応援、ワンポイント・キッチンリフォームの各キャンペーンへの協力を要請した。

4月7日に予定していたパロマフェア名古屋会場は、東日本大震災の発生を受け中止した。

中国連が義援金

5県協に50万円

中国地区LPガス協会連合会（河尻清会長）は、東日本大震災の被災者救援と被災地復興活動を支援するため、義援金として青森、岩手、宮城、福島、茨城の各県LPガス協会に10万円ずつを寄付した。

中部各社

被災地へ義援金

中部地区の事業者が東日本大震災の被災地に相次ぎ義援金を送っている。マルエイ（本社・岐阜市）は3月17日に300万円、村瀬産業（同）は18日に100万円、新日本ガス（同）は19日に500万円を、岐阜新聞社を通じ寄付した。

村瀬産業はグループ社員有志が別途約10万円を寄付している。

24日には中日新聞社を通じ名古屋プロパン瓦斯（本社・名古屋市）が50万円、加茂ガス（本社・美濃加茂市）が100万円を寄付した。

岡山防災協

LPガスの総合力検証

機器販売や保安研修 国備建設現場も見学

倉敷石油ガス備蓄基地を見学

岡山県LPガス防災協議会（浅野益弘会長）は3月11日、倉敷市のせとうち児島ホテルで研修会を開いた。事務局の報告・協力依頼、座学研修、見学研修の3部構成で、会員らが多数出席した。

第1部では協議会事務局が▽LPガス協会発刊予定の「次世代に向けたLPガス省エネ機器販売マニュアル」の内容と、研修会など今後の展開▽日本ガス体エネルギー普及促進協議会（コラボ）主催の「Siセンサーコンロ1千万台突破キャンペーン」の概要と県の対応▽エネファーム・LPG車1店1台運動の進捗状況――などについて報告、エコジョーズなど省エネ機器の普及促進とエネファーム・LPG車の率先導入を呼びかけた。

第2部の座学研修では、山陰酸素工業（米子市）統括保安本部長の深谷勉氏が「LPガス製造事業所の保安高度化と安全管理～求められる卸の役割～」の題で講演した。深谷氏は▽最近6年間の製造事業所、移動中、消費先、その他事故の原因別分析▽平成22年に発生した高圧ガス保安法事故と概要▽販売、消費、周知にかかわる法令――などを解説。自社で使用している提出用事故速報や、LPガス長期停滞容器の回収運動などを紹介した。

第3部の見学研修では、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC、本部・川崎市）が倉敷市水島地区に建設中のLPガス備蓄基地を見学した。同基地は全国で5カ所（ほかに石川、長崎、茨城、愛媛）計画されている国家備蓄基地の一つ。地下水で地中の亀裂を満たし、ガスが漏れる通り道をなくして封じ込める水封式地下岩盤貯槽方式を採用し、貯蔵能力は40万トン。タンクは地下165～189㍍のところにあり、参加者は工事中の坑内をバスで実際に潜り、現場を体験した。

エネクス HL西日本

安全守り安心提供へ

簡ガス団地で防災訓練

伊藤忠エネクスホームライフ西日本（本社・広島市、上原正幹社長）は3月11日、三原市の須波ハイツ簡易ガス団地（供給許可地点数900戸）で、東南海地震を想定した広域防災訓練を実施した。総勢40人が参加した。

宮本浩一・東中国統括部長が「今日の緊急訓練を実際の災害としてとらえ、迅速に行動し、安全を確保したうえで、お客さまに安心をお届けできるよう取り組んでほしい」とあいさつした。

訓練は午後1時頃、震度5強の地震が発生し団地内の一部建物が損壊。道路に亀裂が生じ、埋設管が破損しガスが漏洩したとの設定で行った。

関森清対策本部長（備後支店長）の訓練開始を合図に、社内の支援防災体制に基づき点検班、復旧工事班、通信連絡班が本番さながらに訓練を展開した。訓練には三原市消防署員も参加し、団地住民らが熱心に見守った。

訓練には40人が参加

本番さながらに行動した

訓練終了後、丸山博之環境保安部長が「いつ起きてもおかしくない大規模災害に備え、引き続き危機感を持って保安業務に当たってもらいたい」とあいさつ。自然災害への備えの重要性を参加者全員で再確認した。

リフォーム需要を開拓

鳥取県西部5社がフェア

鳥取県西部地区のLPガス販売事業者5社は、リフォーム需要の掘り起こしを目的に3月12、13の両日、米子市のタカラスタンダード米子ショールームで「ECOリフォームフェア」を開いた。2日間で270組が来場した。

会場では住宅エコポイントの説明と合わせて、エコポイント対象商品のシステムバスやトイレ、システムキッチンなど住設機器とエコジョーズ、Siセンサーコンロ、ハイブリッド給湯器などのLPガス省エネ機器を提案した。

来場記念品としてシュークリームを、また、3万円以上の成約客とキッチン・バスの見積もり客にはすきやき肉をプレゼントした。2日間でシステムキッチン4セット、システムバス3セット、エコジョーズ10台、Siコンロ26台などを成約、前売りを含め1212万円を売り上げた。長時間滞在する顧客も多く、見積もり件数も目標を上回る45件を獲得した。

参加販売店は足立燃料、岩田燃料店、広島ガスエナジー米子営業所、松本油店、山陰酸素工業米子支店、同境港営業所。

見積もり件数は目標を上回る45件を獲得した

電力偏重 是正を

中村・富山県協事務局長が講演

ＪＡあおば女性部で

富山県LPガス協会（高見之興会長）は3月18日、富山市のJAあおば女性部組織協議会（細田かずる会長）が開いた定期総会で講演会を行った。約90人が参加し、中村直樹・富山県協事務局長が「そのときあなたはどうする。～地震災害に備えて」を約60分講演した。

中村直樹氏

当初、「安心・安全に関するお話」のテーマでSiセンサーコンロやマイコンメーターなどを解説する予定だったが、11日の東日本大震災発生を受け急きょテーマを震災対策に変え、家庭の主婦が普段から防災にどう備えるべきか、有事にとるべき行動、防災必需品、国内の電力供給能力などについて、最新のトピックスを交え分かりやすく説明した。

中村講師は「オール電化が普及してきたが、日本は電力に頼り過ぎ。ガス、太陽光発電、燃料電池などを大いに利用するエネルギーベストミックスを改めて見直す機会が来た」と強調した。

原調制度の基礎学ぶ

愛知県協

愛知県LPガス協会（後藤庄樹会長）は3月17日、名古屋市のローズコートホテルに約150人を集め原料費調整制度講習会＝写真＝を開いた。寺島善仁専務理事はあいさつで「昨年末の中部5県消費者懇談会で、資源エネルギー庁から同制度を検討してほしいと要請された。制度導入の是非は各事業者が判断すべきだが、制度をしっかり勉強しておくべきと思い企画した」と述べた。

演題は▽LPガスを巡る最近の状況（岡村雄治・エネ庁資源・燃料部流通課企画官）▽原料費調整制度の導入（長岑俊彦・マーケティングデザイン取締役チーフアナリスト）。

岡村講師は「LPガスに関係する相談件数の約3割は料金関連。LPガス業界は他エネルギーとの競争が激しいが、料金透明化は取引の安心・安全性提供と競争力向上、自社の業務効率化につながる」と指摘。長岑講師は「ここ数年はLPガスの輸入価格が乱高下しており、価格の変動リスクを回避していくためにも同制度の導入が必要だ」と強調した。

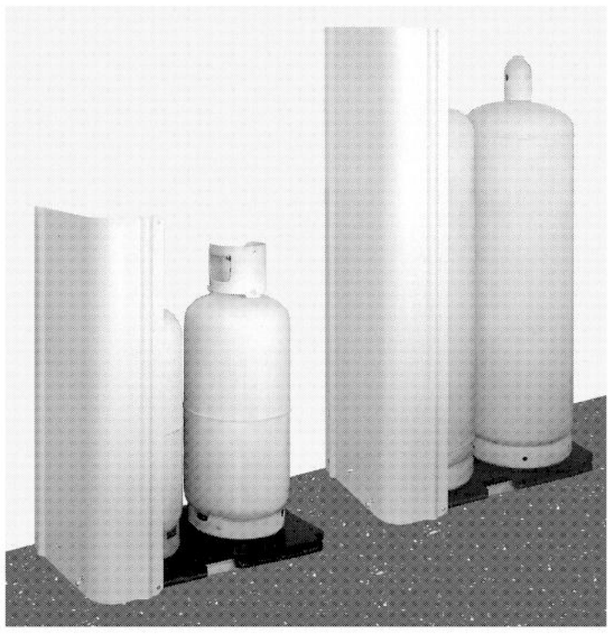
充填の確認・供給の合理化・安全と企業のＰＲに――
小さなキャップで　大きな効果
24時間受注　FAX：０５３２（４８）２２０１
ニューＰキャップ製造販売元　株式会社 名豊技研
豊橋市草間町字東山28
☎0532(45)4522　〒441-8141

３月11日（金）に発生した東日本大地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

株式会社　美濃松
名古屋市昭和区白金２丁目５番11号　☎052-881-7900　〒466-0058

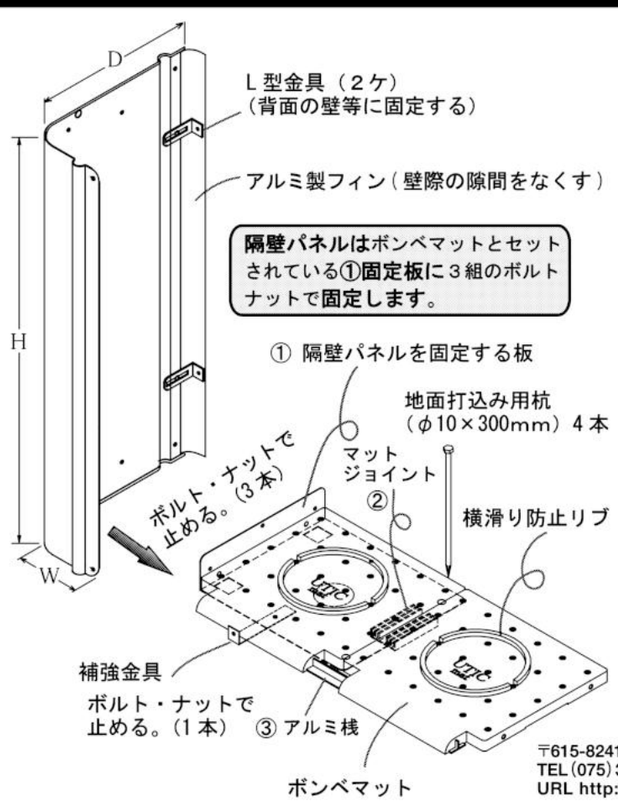
ユーティック
UTIC® マット付 隔壁パネル

★UTIC－202PM　20kg容器 2本用
★UTIC－502PM　50kg容器 2本用



取付設置が簡単です！

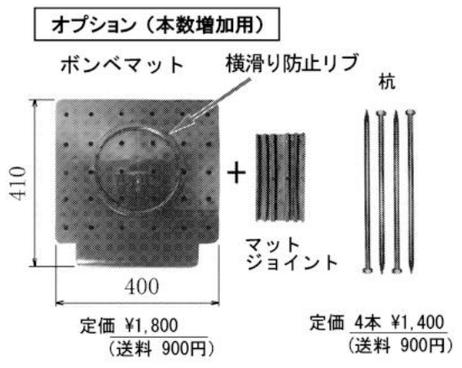
特徴
(1) ボンベマットは、耐震対応のため容器の横滑り防止リブ付
(2) 赤サビ防止10年保証（ガルファンカラー鉄板とポリエチレン樹脂の組み合わせです）ただし地面打込み用杭を除く。
(3) ボンベマット（マットジョイント付）の追加で容器の本数増加対応可能。
(4) 壁際の隙間は50㎜まで調整可能です。
(5) 左右兼用型です。



型番	仕様	寸法	定価
UTIC-501PM	50kg 容器１本用	W188×H1530×D428	￥20,000
UTIC-502PM	50kg 容器２本用	W188×H1530×D428	￥21,000
UTIC-201PM	20kg 容器１本用	W188×H1000×D428	￥18,000
UTIC-202PM	20kg 容器２本用	W188×H1000×D428	￥19,000

※地面打込み用杭（30cm）４本付。
※1セットの場合は送料￥1,600のご負担をお願い致します。

オプション（本数増加用）



高橋産業株式会社
〒615-8241　京都市西京区御陵谷町35-11
TEL(075)391-1011　FAX(075)391-1015
URL http://utic.jp　E-mail ts@utic.jp
ご注文は FAX 0120-1-365-46
お問い合わせは TEL 0120-50-72-72